



令和7年度

学校だより

4月21日発行
九度山町立
九度山中学校

学校HP



色とりどりの花が咲き競う、美しい季節を迎えました。新入生14名を迎え、令和7年度がスタートしておよそ2週間がたちました。生徒は新しい環境に早くも順応し、授業や部活動、学校行事等に落ち着いて、しっかりと取り組んでいます。4月8日に挙行了した入学式では、新入生に向けて、次の2つの話をしました。

- ①本校の校訓「感謝・向上」をいつも心に留めて、様々な活動に取り組んでほしい。
- ②自分で考えて判断し行動する力を身につけてほしい。そのため、人を大切にする事、自分の考えを持つこと、自分を表現すること、チャレンジすることを大切にしてほしい。

学校や生徒の様子は、今年も「学校だより」やホームページ(HP)等でお知らせします。なお、本年度の学校経営方針についてはPTA総会等の機会にご説明するべきところですが、さしあたり、簡潔にまとめた『スクールプラン』を裏面に掲載しましたので、ご覧ください。

本年度も皆様のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。(校長:阪中)



●主な行事予定

4	23	水	1・2年授業参観、3年修学旅行・進路説明会	8	木	尿検査(2次)
	26	土	バスケットボールさつき杯(～4/27)	9	金	3年到達度テスト
	28	月	SC、SSW	12	月	SC
	29	火	昭和の日	13	火	生徒総会
	30	水	1年心電図検査、個人懇談(～5/2)	14	水	部活動なし
5	1	木	交通指導	15	木	交通指導、PTA評議委員会
	3	土	憲法記念日	16	金	内科検診【男子】
	4	日	みどりの日	19	月	SC、SSW
	5	月	こどもの日	20	火	3年修学旅行(～5/22)
	6	火	振替休日	22	木	1・2年校外学習
	7	水	SC	26	月	SC、中間テスト発表

SC:スクールカウンセラー来校日

SSW:スクールソーシャルワーカー来校日

授業参観、修学旅行・進路説明会、個人懇談の開催・実施について

4月23日(水)の午後、1・2年生授業参観及び3年生修学旅行・進路説明会を開催いたします。保護者の皆様には、ぜひご来校いただければと思います。あわせて、4月30日(水)から5月2日(金)の3日間、個人懇談会を実施します。保護者の皆様には、平日の午後であり、お忙しいところ申しわけありませんが、時間を取っていただきますようお願い申し上げます。

令和7年度九度山町立九度山中学校（学校経営方針）スクールプラン

九度山町学校教育目標

豊かな人格の形成を図ることを主眼として、人間尊重を基盤とした心のふれあう充実した教育を通して「生きる力」をはぐくみ、主体的に生きていく元気な児童・生徒を育てます。

保護者・地域の願い

- ・思いやりのある子どもに育ててほしい
- ・学力をきちんと身につけてほしい
- ・地域に誇りをもってほしい
- ・魅力のある学校であってほしい

【学校教育目標】

自ら考え正しく判断して行動し、他者とも協働しながら、自分の夢の実現に向けて努力できる生徒の育成

【めざす生徒像】

- 1 主体的・対話的で深い学びができる生徒
- 2 互いに認め合い、自分も他者も大切にする生徒
- 3 たくましい心と体をもつ生徒
- 4 夢や希望に向かって努力する生徒
- 5 地域や学校に誇りをもつ生徒

前年度の学校評価

- ・生徒が主体的に活動する授業づくりをさらに進めていただきたい
- ・自分と向き合い、他者を尊重する、豊かな心を育む取組を進めていただきたい
- ・学校理解を深めてもらう取り組みをより進めていただきたい

生徒の実態

- ・学習態度はおおむね良好であり、学校生活が楽しいと感じている生徒が多い
- ・自分の考えを述べることができる生徒が増えてきている

重点目標

基礎・基本の定着と主体的・対話的な学び

- ・質の高い授業の推進
- ・個別最適な学びの推進
- ・家庭学習の充実
- ・PC端末およびデジタル教科書の有効活用

豊かな心とたくましい心身の育成

- ・安心して生活できる、落ち着いた学校環境
- ・よりよい人間関係の形成
- ・道徳教育、人権教育の推進
- ・体力の向上

未来社会の創り手となる生徒の育成

- ・体験活動の充実
- ・自立への取り組みの充実
- ・キャリア教育の推進
- ・ふるさと教育の推進

具体的な取組

- 研究主題に基づき、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う
- 指導の個別化と学習の個性化をはかり、生徒の個別最適な学びを推進する
- 授業規律の確立に努め、基礎・基本の確実な定着に向けた方策を徹底する
- 九中タイムを有効に活用しながら、家庭での基本的な生活習慣・学習習慣の確立を目指す
- デジタル教科書やデジタル教材を活用した授業研究を推進し、全教員で授業改善に取り組む

- 互いの人権を尊重し、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、協力し合う態度を育む
- 道徳科では、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、議論することを通して、自己の生き方についての考えを深める授業作りを行う
- 生徒が進んで運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯を通じて明るく健康で安全な生活を営むための体力と態度を養う

- 自己のよさや可能性を認識し、自分らしい生き方を探る力や、夢や希望をもち叶えるため、最後まで諦めず努力する態度を育てる
- 豊かな体験活動（職場体験やボランティア活動）を通じて、規範意識と社会性の育成に取り組む
- 自立のため、自己肯定感・達成意欲・自己効力感を高める
- ふるさと教育の推進を図り、地域に誇りを持ち、地域社会の一員としての自覚を高め、「人や社会とのつながりの中で活躍できる」生徒の育成に取り組む

指標

- ・県学習到達度調査、全国学力・学習状況調査で全教科の正答率が県平均を上回る
- ・学校の授業がよくわかる（生徒95%）
- ・自分の考えを述べるのが得意（生徒90%）
- ・全教員によるデジタル教材を活用した授業研究

- ・学校へ行くのが楽しい生徒（95%）
- ・思いやりや優しさの気持ちで生活（95%）
- ・いじめの解消率100%
- ・先生は相談しやすい（95%）
- ・運動能力調査が県平均を上回る

- ・先生は自分の努力を認めてくれた（95%）
- ・学校行事に意欲的に取り組んだ（95%）
- ・社会のルールについて学んだ（95%）
- ・体験活動での生徒の変容（感想・発表）